

ACTIVITY REPORT 2024

WA!

WONDER ART

WONDER ART ACTIVITY REPORT 2024

MESSAGE

12名のメンバーとの日常があり
38名のメンバーとの週末があり
14名のメンバーとアートキャンプし
53名のアーティストと展覧会を開催しました。

276名の東北の人々とアートでつながり
199名の重度心身障がいの人々と色で交信し
461名の病院の子どもたちとたからものをつくり
3085名の患儿とクリスマスカードで交流しました。

地域の人々と触れ合う活動もさまざまご縁があり
連綿と続く日々は実に豊かに鮮やかに
私たちの1年を彩ってくれました。

そしてそれらは
思いがけないたくさんのギフトももたらしてくれました。

この1年 私たちに関わってくれた子どもたち 人々に
感謝の気持ちでいっぱいです。

心からの感謝をこめて

高橋雅子
ホスピタルアーティスト
NPO 法人ワンダーアート代表理事



■ Wonder Art Studio

障がいのある子どもと大人38名が通うワンダーアートスタジオは、125回のプログラムを行いました。それぞれの感性を輝かせたいと、子どもたちの成長と変化に向き合っています。スタジオで小・中・高と年を重ね、今春から就労するメンバーの卒業もあり、感慨深い一年になりました。

助成：一般財団法人日本児童教育振興財団



■ Wonder Workers

開設から3年目を迎えたアートの仕事場、ワンダーワーカーズ。(就労継続支援B型)。メンバーは13名になりました。(2025年5月現在16名)音楽に手芸に陶芸に、それぞれ得意とするジャンルも広がりを見せています。アート制作はもちろん、週末のアトリエやホスピタルアート活動の準備作業も担い、さまざまな仕事にチャレンジしています。



〈森のアート海のゲイジユツ〉

22年前から続けてきた自然とアートをリンクさせたプログラム。東日本大震災後は東北の子どもたちのアートキャンプとなり、昨年から発達障がいの子どものための宿泊プログラムへと展開しています。栗原市と南三陸町で自然探索とアート制作、共同生活を体験。子どもたちに成長をもたらした2泊3日の旅でした。

開催日：2024年8月16日～18日／国立花山青少年自然の家 9月21日～23日／志津川自然の家
後援：宮城県教育委員会 助成：社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団 協力：南三陸・海のビジターセンター



Member's Works

市庁舎仮囲いに!

Wonder Workers の清宮玲さん、大和田紳介さんの“ダイバーシティ”をテーマにした作品が、改修工事中の仙台市庁舎の仮囲いを彩りました。2025年6月末まで展示されています。



丸紅本社ビルで展示

2019年度に助成をいただいた丸紅基金。50周年記念にワンダーアートの作品を展示したいと嬉しいご依頼がありました。10/28~11/22、丸紅東京本社ビル1階ロビーと上階ゲストフロアで、Wonder Art Studio、Wonder Workers15名のアーティスト作品がデジタルプリントで展示されました。

スポーツイラスト受注!



宮城県「令和6年度障害者アート作品を通じた相互理解促進業務」の一環で、一般財団法人 Golazo が主催する〈インクルーシブスポーツキャラバン〉のメインジュアールとロゴマークを、Wonder Workers の大和田紳介さんが描き下ろしました。



第2弾コラボ!

スタイリッシュな医療ウェアを販売するクラシコ株式会社との第2弾コラボレーション。Wonder Art Studio 有我樹くんの動物の作品と、Wonder Workers 細川隆之介くんの世界の建築物がスクラブにデザインされました。



〈ニューカマーセブン〉に選出

「第7回 障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市『さいて、みて、して、見本市。』〈ニューカマーセブン展〉に Wonder Workers の川井智子さんが選ばれ、1/31~2/5にせんだいメディアテークに作品が展示されました。



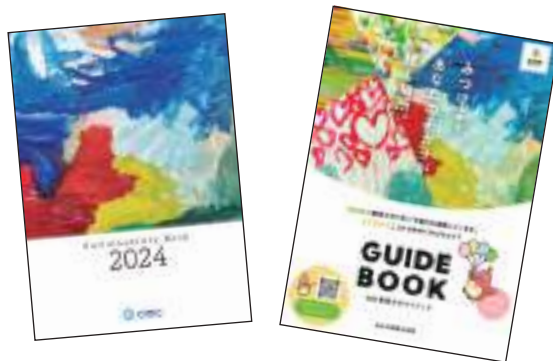
6名同時入賞!

宮城県主催の公募展『ART & ART WEEK』で Wonder Workers のあーちゃん、KANA さん、川井智子さん、清宮玲さん、大和田滉介さん、大和田紳介さんが優秀賞を受賞。作品は仙台パルコで展示され(11/1~11/17)トークセッションに川井智子さん参加しました。



イメージビジュアル手がける!

人気セレクトショップ Biople の秋冬のイメージビジュアルを、細川隆之介さんが描き下ろしました。春夏シーズンに続き、全国の店舗ディスプレイや WEB サイトに登場しました。



表紙デザイン飾る!

Wonder Art Studio の堀江望海くん、篠原新知くん、矢部晃太郎くん、Wonder Workers の大和田紳介さんの作品が仙台市障害福祉ガイドブックの表紙デザインになりました。堀江望海くんの作品は、シミックホールディングス株式会社「Sustainability BOOK2024」の表紙にも起用されました。

〈BORDER FREE ARTS 展〉

〈Wonder Art Studio〉と〈Wonder Workers〉50名のアーティスト+招聘アーティスト3名による作品展を開催しました。「多くの人に作品を観てもらいたい」と、発表の場を大きなモチベーションにしている Wonder Workers のメンバー。一方、発表とは無縁に創作を続ける表現者たちとの出会いがありました。“障がい”という括りではなく、人間味溢れる彼らの魅力を紹介したいと企画した展覧会。県外や海外からも来場者が訪れ、2会場同時開催で約1000人が来場しました。

会期：2025年2月28日（金）～3月5日（水） 会場：せんだいメディアテーク 6階ギャラリー b / ワンダーアートスタジオ
後援：宮城県 SOUP（障害者芸術活動支援センター@宮城） 仙台市 仙台市教育委員会 荒町商店街振興組合
助成：公益財団法人仙台市市民文化事業団 一般財団法人日本児童教育振興財団



出展アーティストたちによる公開制作



荒川知子とファミリーアンサンブルによるスタジオライブ



ギャラリーツアーには Wonder Workers のメンバーが参加



招聘アーティストの伊藤健一さんと沼田仁さん

■ ホスピタルアート

Happy Doll Project

19年目を迎えた全国と世界の病院を結ぶ『ハッピードールプロジェクト』。2022年からオンラインとリモートで継続していましたが、制限が緩和された5病院で対面プログラムが再開。6病院はリモート、院内学級はオンラインで繋がりました。病院に届けた手芸キットは461人分。

全国で生まれたハッピードールを紹介する“ペーパーミュージアム”を制作し、参加者へ贈呈しました。

助成：中央共同募金会 赤い羽根 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン
パーツ製作協力：モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社の皆さん



〔参加病院〕

弘前大学医学部附属病院 宮城県立こども病院

東北大学病院 山形大学医学部附属病院

自治医科大学とちぎ子ども医療センター 千葉大学医学部附属病院

国立国際医療研究センター病院 東京大学医学部附属病院

神奈川県立こども医療センター

川崎医科大学附属病院 倉敷中央病院

Christmas Card Project

入院する子どもたちの応援活動として2003年にスタートした『クリスマスカードプロジェクト』。3,085枚のカードを44病院にお届けしました。カードを通じて全国にいる仲間を感じてほしいと、12病院でメッセージライティングも実施。院内学級の子どもたちを中心に、病院職員の方や院内ボランティアのみなさんが参加しました。

コーポレートパートナー：ジョーンズラングラサル株式会社

プロジェクトサポーター：花王株式会社 ハートポケット倶楽部（花王株式会社） ギャップジャパン株式会社 okta Japan 株式会社 シチズン時計株式会社 リオテントジャパン株式会社



カード寄贈先病院

国立病院機構北海道医療センター 医療福祉センター札幌あゆみの園 弘前大学医学部附属病院 国立病院機構盛岡医療センター
 国立病院機構岩手病院 国立病院機構釜石病院 東北大学病院 国立病院機構宮城病院 宮城県立こども病院
 国立病院機構仙台西多賀病院 仙台市立病院 秋田大学医学部附属病院 国立病院機構山形病院 山形県立こども医療療育センター
 山形大学医学部附属病院 福島県立医科大学附属病院 筑波大学附属病院 国立病院機構茨川医療センター
 群馬大学附属病院院内教室（群馬県立赤城特別支援学校） 国立病院機構下志津病院 千葉大学医学部附属病院
 国立国際医療研究センター病院 東京大学医学部附属病院 神奈川県立こども医療センター
 国立病院機構神奈川病院 神奈川県立リハビリテーション病院（神奈川県立秦野支援学校院内学級）
 聖マリアンナ医科大学病院（川崎市立神原小学校・川崎市立菅生中学校院内学級） 新潟県立がんセンター 国立病院機構富山病院
 金沢医科大学病院 国立病院機構東名古屋病院 愛知県立大府特別支援学校院内学級（名古屋大学医学部附属病院）
 国立病院機構三重病院 三重県立かがやき特別支援学校院内教室（三重大学医学部附属病院）
 高槻市立高槻小学校院内学級（大阪医科大学附属病院） 和歌山県立医科大学附属病院 鳥取県立総合療育センター
 津山市立林田小学校院内学級（津山中央病院） 国立病院機構福岡病院 熊本大学病院 国立病院機構菊池病院
 大分こども病院 国立病院機構琉球病院 沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター

メッセージライティング参加者

ジョーンズラングラサル株式会社 花王株式会社 花王ハートポケット倶楽部 ギャップジャパン株式会社
 okta Japan 株式会社 シチズン時計株式会社 リオテントジャパン株式会社 国立国際医療研究センター病院
 東北大学病院 宮城県立こども病院 神奈川県立こども医療センター 福島県立須賀川支援学校医大校
 神奈川県立秦野支援学校 東京都立北特別支援学校東大こだま分教室 愛知県立大府特別支援学校
 群馬県立赤城特別支援学校 高槻市立高槻小学校 三重県立かがやき特別支援学校
 津山市立林田小学校 川崎市立菅生中学校 川崎市立神原小学校 沖縄尚学高等学校附属中学校
 第一学院高校立川キャンパス 都立小平高校イラストレーション部 仙台市鶴ヶ谷東マイスクール児童館
 仙台市金剛沢児童館 仙台市長命ヶ丘児童センター 益城町広安さくらんぼクラブ 京都市崇仁児童館
 東北学院大学 東北福祉大学 東北外語観光専門学校国際交流センター 仙台市民活動サポートセンター
 ユースPASSO グッドライフパートナー宮崎 創造アトリエおきな木 WonderWorkers
 ほか全国の皆さん



カードのデザインは WonderWorkers 大和田 深介さんのイラストと大和田 神介さんのレタリング



プレゼント配布

企業から寄贈された生活雑貨を、病院と障がいのある人たちへクリスマスプレゼントしました。

プレゼント提供：株式会社ディック・ブルーナ・ジャパン
 寄贈先：東北大学病院 国立国際医療研究センター病院
 おひさまクラブ（南相馬） ワンダーアートスタジオ/ワンダーワークス（仙台）



■ ボーダレスアート

Happy Art Project

2009年にスタートした重度心身障がいの人々とのアート活動『ハッピーアートプロジェクト』。7病院で9回のプログラムを行いました。普段見られない患者さんの輝く表情や積極的な動き、家族同士の交流に繋がるとして、リクエストが続いています。

助成：公益財団法人ヤマト福祉財団 田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム



(実施病院)

6月13日 国立病院機構東名古屋病院
9月4日 国立病院機構西多賀病院
9月11日 国立病院機構盛岡医療センター
9月25日 国立病院機構福岡病院
10月2日 国立病院機構盛岡医療センター
10月9日 国立病院機構宮城病院
10月30日 国立病院機構北海道医療センター
11月23日 山形県立こども医療療育センター



宮城県立 聴覚支援学校

東日本大震災の応援活動で訪れて以降、毎年リクエストをいただき、早期支援クラスの幼児とご家族を対象に初めてのアート体験と親子交流につながるプログラムをお届けしています。

開催日：2024年7月3日、7月5日
助成：大東建託グループみらい基金



ARTS for HOPE

現地のニーズにより継続している東北応援活動を行いました。

Happy Summer

／岩手県大船渡市

気仙地域の子どもたち対象のプログラム。東日本大震災の応援活動として始まり、2021年からは障がいのある子どもたちの活動に発展しています。台風上陸と重なり、会場に辿り着けなかった参加者も多くいましたが、楽しみに待っていてくれた子どもたちと嬉しい再会を果たしました。

開催日：2024年8月12日 カメリアホール
後援：大船渡市教育委員会 陸前高田市教育委員会
助成：大東建託グループ みらい基金



Special Project

／福島県南相馬市

障がいのある子どもと家族のサークル「おひさまくらぶ」の依頼によるプログラム。9年目で16回目の活動となりました。円陣を組み、手芸材料を使った作品づくり。つくりたいものをかたちにすべく、子どももお父さんもお母さんも真剣そのもの。親子が協力して会話を弾ませながら、世界でたった一つの作品を完成させました。

開催日：2024年12月23日
ひばり生涯学習センター
助成：大東建託グループ みらい基金



福島支局の活動

／福島県南相馬市

例年参加している地域復興イベントのほか、親子対象の手芸のプログラムを行いました。地元高校生のボランティア参加も定着しています。

開催日：2024年5月3日 菜の花迷路
6月9日 南相馬市健康福祉センターゆらっと
11月10日 南相馬市健康福祉センターゆらっと
助成：大東建託グループ みらい基金



—我らが相棒、津波伝承館へ！—

東北応援活動 ARTS for HOPE で我々の足となり、東北各地と一緒に走り続けてくれたハイエース。走行距離が20万キロを超え、現役続行が難しくなりました。廃車の直前、寄贈を呼び掛けたところ、大船渡にある津波伝承館（潮目）代表の片山さんから連絡が。震災の記憶を伝え、地域と全国の人たちをつなぐ場所で、第2の車人生をスタートさせました。今後は子どもたちの遊び場として、〈みちのく潮風トレイル〉の休憩ポイントとして、ボランティアの活動拠点として活躍します。

■ 地域連携

ワンダーアートの拠点がある仙台市の荒町。商店街や教育施設など、地域との関りを深めています。

荒町商店街がやってきた!

ワンダーアートのビルに商店街振興組合が仲間入りしました。七夕祭りの実行員会や将棋教室も開かれ、スタジオの利用者だけでなく、地域の人たちが集まる施設になってきました。開設当時から目指してきた風通しの良い開かれたコミュニティづくりに向けて、前進を続けています。



8月6日～8日に開催された荒町商店街振興組合の七夕まつりに参加。Wonder Art StudioとWonder Workersのメンバーで制作した七夕飾りは実行委員長賞を受賞しました。一番町では、アートの福祉事業所〈アート・インクルージョン〉の企画によるデザイン七夕に、Wonder Art Studioの矢部晃太郎くん、堀江望海くんの作品が起用されました。



ブライト仙台

8月9日、聴覚障がいのある子どもたちの放課後デイサービスがスタジオにやってきました。スタジオメンバーと一緒に交流しました。



10月30日、仮装した子どもたちが荒町商店街を練り歩きました。地域の子どもたちが安心して駆け込める居場所をつくり、防犯意識を高めることを目的とした「仙台荒町子まもりプロジェクト」の一環。Wonder Workersのメンバーと袋詰めしたお菓子は、あっという間になくなりました。



出店

仙台市主催の販売会のほか、支援学校や保育園の保護者からの依頼による出店が続きました。オリジナルのアートグッズや、Wonder Workersメンバーが製作した陶製品が人気を集めました。

- 6/2 とっておきの音楽祭 (勾当台公園)
- 6/27 ふれあい販売会 (勾当台公園)
- 6/29～7/5 ガレーゼール (ワンダーアートスタジオ)
- 7/27 おひさまマルシェ (おひさま原っぱ保育園)
- 9/14～9/15 FUJISAKI DAY 社のマルシェ (八木山動物園)
- 10/7 ふれあい販売会 (勾当台公園)
- 10/14 わが街マルシェ (東北学院大学)
- 10/16～10/18 ナイスハートバザール (JR 仙台駅コンコース)
- 10/19 光明支援学校秋祭り
- 11/6～11/17 東北スタンダードマーケット (仙台バルコ/ ART & ART WEEK 関連ポップアップショップ)
- 11/9 商店街マルシェ (勾当台公園)



外部からの依頼事業

仙台市や NPO、教育機関などからさまざまな相談や協力依頼がありました。

『あそびの場』運営

「第7回障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市『きいて、みて、して、見本市。』」会場で開催されたディスカッション「みんなで話そう!新しい文化施設のこと」。主催する仙台市から市民の対話の場併設の〈あそびの場〉運営を依頼され、リラックスできる創作空間を出現させました。

開催日：2025年2月2日 せんだいメディアテーク



講師（高橋雅子）



ボランティアの受入

仙台市市民活動サポートセンターが主催するボランティア体験イベント『ちょっと。ボランティア』。学生からシニアまで、幅広い年代のみなさんが参加し、病院の子どもたちに贈るクリスマスカードづくりに取り組みました。

開催日：2024年9月18日



仙台市若者自立・就労支援事業ユース PASSO の皆さんが、ボランティア実習の一環としてスタジオを訪れました。
開催日：2024年10月4日・8日

荒町小学校

「絵の具の使い方を教えて！」図工の特別講師に招かれ、自由に伸び伸び描く楽しさを伝えました。

開催日：2024年6月18日

東北学院大学

地域総合学部・菅原真枝教授のゼミ生に向けたレクチャーを行いました。

開催日：2024年6月21日

社会教育委員会

仙台市教育委員会が設置する社会教育委員会の「地域における子どもの学びと居場所」に関するヒアリング調査に協力しました。

開催日：2024年11月26日

東北福祉大学

福祉を通じた街づくりを学ぶ社会福祉学科の学生が見学・ヒヤリングに訪れました。

開催日：2024年12月18日

■ 環境改善

場所が分かりにくく、暗かったエントランスが明るくなりました。トイレの改修工事やエアコンの新設も進み、施設的环境が大きく改善。送迎や遠征に活躍する車両も新しくなりました。

助成：公益財団法人森村豊明会



■ メディア掲載

2024年

- 6/14 新聞／中日新聞 「障害ある子ら カラフルアート」
- 8/26 新聞／河北新報 「アートなビル 異業種が集合」
- 10/24 新聞／河北ウィークリーせんだい 「異彩放つ障害者アートプロダクツ」
- 12/1 新聞／河北新報 「障害者アート 仮囲いに彩り」
- 12/11 新聞／河北新報 「白い壁に多様性広がる」

2025年

- 2/25 ラジオ／tbc ラジオ 『GoGo はみみこいラジオな気分』（高橋インタビュー）
- 2/28 新聞／リビング仙台 「BORDER FREE ARTS 展」
- 3/2 新聞／河北新報 「“境” 消える 芸術の森」
- 3/5 テレビ／tbc 東北放送 『ひるおび』内ニュース「障害のあるアーティスト作品展」
- 3/6 新聞／岩手日報 「芸術で復興支え 20万キロ」
- 3/13 新聞／東海新報 「“復興遺構” の車両、「潮目」へ」
- 3/15 新聞／岩手日報 「復興ワゴン車 遊び場に変身」
- 冊子／丸紅基金 助成先インタビュー BOOK Vol.2



河北新報 (2024.8.26)



河北ウィークリーせんだい (2024.10.24)



河北新報 (2024.12.11)



河北新報 (2025.3.2)



岩手日報 (2025.3.6)



丸紅基金助成先インタビュー BOOK

■ サポーター

2024 年度も温かなご支援をいただき、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。(敬称略・順不同)

〈助成〉

社会福祉法人中央共同募金会
(赤い羽根ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン
「重症児等とその家族に対する支援活動応援助成」)
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団
公益財団法人仙台市市民文化事業団
大東建託グループみらい基金
田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム
一般財団法人日本児童教育振興財団
公益財団法人森村豊明会
公益財団法人ヤマト福祉財団

〈協賛〉

ジョーンズラングラサール株式会社
Okta Japan 株式会社
花王株式会社
花王ハートポケット倶楽部
ギャップジャパン株式会社
シチズン時計株式会社
リオティントジャパン株式会社

〈物品寄付〉

株式会社ディック・ブルーナ・ジャパン
マナトレーディング株式会社
Jitchi 小野幸子 竹下厚史 川人望 熊谷入り
荒川幸子 瀬山由規子 渡邊恭子 M・O

〈寄付〉

NPO 法人小江戸大江戸レニックワールド
学生団体マイハウス
大内さん家の子どもを守る会
OSUSO
石毛慎也 佐藤保雄 M・O 高野好真 穴戸登美子 田中長子
村山令奈 久保言史 野崎春子 石坂真智子 坪井利枝
モンマタエ 池田朗子 Ryosuke Motegi 池上浩子 柳井琴子
Senkichi Watanabe 長尾浩二・長尾圭子 (カットショップシヨーン)
Jan Pijpers Charlyn Kayama Valimont Takuya Kishimoto
Tomoyuki Koizumi 笠木恵子 渡邊恭子 高橋真治 伊藤恵子
泉谷則子 八巻正昭 澤田克己

〈会員／賛助会員〉

シチズン時計株式会社
株式会社第一製版
佐藤仁志 柳田誠二 北川衆一 守栄一 石毛慎也 石毛恭子
石毛隆史 石毛珠美 石毛啓介 石毛純子 佐藤保雄 M・O
三浦潤 関根さゝ 高橋悦子 植松健 西方郁子 丹治武志
林美沙子 田中長子 市瀬明美 中道主悦 滝井真智子
菊田孝宏 大方智子 河津あつ子 明石伸子 村山令奈
工藤裕恵 三浦慶奈 小嶋一利 本田宏 瀧田紀子 米山顕子
本田容子 高橋康子 坪井利枝 松元美紀子 渡部寛菜 堺武男
前沢明枝 戸田廣美 ベルコート・パレット 白髪宏司 清宮恵美
梶谷陽子 野崎春子 阿部千恵美 佐藤理絵
Wonder Art Studio Members

— 会員募集! —

活動には皆さまの応援が必要です。
ぜひ会員になり、一緒に活動を支えて下さい。

年会費

(個人) 10,000 円
(団体) 50,000 円
(法人) 100,000 円

■三菱UF J銀行

仙台支店 (普) 0935444 トクヒ) ワンダーアート

■ゆうちょ銀行

記号：18100 番号 45866381 トクヒ) ワンダーアート

＊他の金融機関からお振込の場合

店名：八一八 (ハチイチハチ) 店番：818

普通 4586638 トクヒ) ワンダーアート

■七十七銀行

荒町支店 (普) 5023198 トクヒ) ワンダーアート

＊お手数ですが、お振込の際は事務局までご一報ください。

＊会員の皆さまには、活動報告書や各種ご案内をメールや郵送でお送りします。

NPO 法人ワンダーアート

〒984-0073 宮城県仙台市若林区荒町 172 第一旭ビル

TEL 022-724-7255 FAX 022-724-7285

npowonderart@gmail.com

<https://www.wonderart.info/>



Cover : Created by Participants of Miyagi National Hospital